

医療安全推進委員会

委員長：四ッ柳高敏

委員：磯貝 典孝、梅澤 裕己、北山 晋也、竹内 正樹、杠 俊介

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

- 主な議題：1. 日本医療安全調査機構への部会員推薦
2. 日本医療安全調査機構協力学会、医療安全全国共同行動社員総会活動への参加
 3. 医療用医薬品添付文書の妊婦に関する禁忌等への対応
 4. ヘマンジオールの副作用（低血糖）に関わる事案
 5. 安定確保医薬品供給不足の検討
 6. 局所陰圧閉鎖療法の適正指針実施者要件緩和
 7. 術後に生じた予期せぬ死亡例事案に対する外部委員の推薦
 8. 新型コロナウイルスに関わる入院・手術の延期ガイドラインに関して

- 活動の概要：1. 日本医療安全調査機構からの依頼に対し、各支部の推薦担当者より部会員の推薦を得て報告した。
2. 両学会総会に委員として参加した。
 3. 厚生労働省「妊婦・授乳婦を対象とした薬の適正使用推進事業」妊娠と薬情報センター情報提供ワーキンググループより、医療用医薬品添付文書の妊婦に関する禁忌等の記載内容の変更を希望する薬剤調査依頼があった。会員に希望調査を行ない回答した。
 4. 会員より、ヘマンジオールの副作用（低血糖）の事案（事象レベル 3a）の報告があり、学会 HP、および会員メールにて情報提供を行った。また関連する諸学会にも情報提供を行い、対応の検討を依頼した。
 5. 日本医学会より、安定確保医薬品供給不足が生じた場合の診療の選択肢の提示について検討依頼があり、供給不安発生時の代替薬、代替療法とその優先順位につき回答した。
 6. 日本在宅医療連合学会より、局所陰圧閉鎖療法の適正指針実施者要件緩和の依頼があり、必要条件を提示した。
 7. 頭蓋骨に対する形成外科術後に生じた予期せぬ死亡例に対し、同病院医療安全推進室から院内調査委員会の外部委員の依頼があり、委員を推薦した。
 8. 日本医学会連合から、厚労省で作成した“医師が延期できると判断した入院・手術の延期に関するガイドライン案”に対し、意見を求められ、皮膚科形成外科領域に関して形成外科的見地から意見を追加した。